



東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

充実した秋に向けて

校長 瀬戸 隆幸

8月27日（月）から前期後半が始まりました。今年の夏は記録的な猛暑で、各地で最高気温の記録を更新しました。暑さで水泳指導を中止したのは、長い教員生活の中で初めての経験です。また、台風の発生が多く、各地に大きな被害をもたらしました。まだまだ残暑が続きそうですが、校庭を吹き抜ける風や朝夕の虫たちの鳴き声に少しずつ秋の訪れを感じるようになってきました。

37日間の夏休みが終わり、学校に全校児童202名の元気な姿が戻ってきました。夏休みに頑張った作品をはじめ普段以上の持ち物を手に登校する子供たちは「おはようございます」のあいさつに、元気な声で「おはようございます」と返してくれました。羽村市動物公園内では、子供見守りボランティアの皆さんが、子供たちの安全な登校を見守ってくださいました。日焼けして生き生きとした表情の子供たちの姿が見られ、一回りたくましく成長した様子を感じとることができました。この夏休み期間中、大きな事故やけがもなく、無事に前期後半のスタートを迎えることができました。保護者及び地域の皆様方のご支援ご協力に厚く御礼申し上げます。

夏休みに入り、8月5日（日）には羽村市水泳大会が開催され、猛暑の中、羽村市スイミングセンターのプールで、他校の小学生と記録に挑戦しました。子供たちの全力を出し切る姿が見られ、応援に力が入りました。スポーツの外にも、金管バンドSBBの子供たちが、7月27日（金）の「多摩地区管楽器演奏会」、7月29日（日）の「はむら夏まつり」、8月4日（土）の「緑ヶ丘3丁目町内会納涼大会」「富士見平第一町内会納涼盆踊り大会」で演奏し、日頃の練習の成果を発揮してくれました。

8月11日（土）～12日（日）には、校庭キャンプが行われ、昨年度よりも多くの子供たちが参加してくれました。飯盒炊爨・カレー作り、キャンプファイヤー、きもだめし、体育館での宿泊など、夏休みのよい思い出となったことでしょう。そして協力することの大切さを学ぶよい機会にもなったことでしょう。参加した6年生は、日光移動教室での経験を活かし、素敵なリーダーシップを発揮してくれました。

また、夏休み中には、第100回全国高等学校野球選手権大会が開催され16日間に渡り熱戦が繰り上げられました。秋田県代表の金足農業高校の活躍やドラマは、私たちに感動を与えてくれました。

子供たちにも勇気や自信をもたせられるような教育活動を進めていきたいと思えます。前期後半と後期前半には5年生の清里移動教室をはじめ、遠足や社会科見学など多くの校外学習が予定されています。また、陸上競技大会やジュニア駅伝、市内音楽会や図工展など多くの行事も計画されています。

「勉強の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」といわれるように、年間を通じて最も充実した時期となることが期待されます。教職員一同「チーム松林」の結束力をより一層深め、「すべては子供たちのために」を合い言葉に教育活動に邁進して参りますので、引き続きご支援ご協力のほど、よろしく願いいたします。